

大島商船高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	海事实務		
科目基礎情報							
科目番号	0223		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	商船学科		対象学年	5			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	実験実習指導書/大島丸実習ノート/キャリアデザインノート/配布資料						
担当教員	杉本 昌弘,山口 伸弥,山口 康太						
到達目標							
1. 船舶機関士として必要な基礎知識・技術を習得し、船内機器の運転や保守管理に活用できる。 2. 船用諸機関および各種工作機器の基本原理と操作方法を理解し、実験・実習を遂行できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
評価項目1		船舶機関士として必要な基礎知識・技術を習得し、船内機器の運転や保守管理に活用できる。	船舶機関士として必要な基礎知識・技術を習得できる。	船舶機関士として必要な基礎知識・技術を習得できない。			
評価項目2		船用諸機関の基本原理と操作方法を理解し、実験・実習を遂行できる。	船用諸機関の基本原理と操作方法を理解できる。	船用諸機関の基本原理と操作方法を理解できない。			
学科の到達目標項目との関係							
本校 (1)-b 商船 (2)-a							
教育方法等							
概要	海事实務は技能および技術を習得するとともに、技術者として望ましい態度や習慣を身に付ける。						
授業の進め方・方法	実習及び演習を主体とする。相互評価に「実技」等を含める。ポートフォリオに「課題」「レポート」等を含む。						
注意点	必要に応じて、実験実習指導書、大島丸実習ノート、配布資料、関数電卓を持参すること。安全について十分に配慮すること。作業服、安全靴、帽子を着用してくること。						
授業の属性・履修上の区分							
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	救命講習	救命艇の降下および収容ができる。			
		2週	救命講習	船舶遭難時の生存維持の条件について説明できる。			
		3週	救命講習	船舶に備え付けられている救命設備の使用方法について認識している。非常事態を想定した船外への離脱を実践することができる。			
		4週	船舶整備	船舶整備につき必要な工具を取り扱うことができる。			
		5週	内燃機関 (1)	内燃機関の性能試験ができる。			
		6週	内燃機関 (2)	内燃機関の故障診断ができる。			
		7週	流体力学 (1)	軸対象噴流のデータ測定および計算ができる。			
		8週	流体力学 (2)	軸対象噴流のデータ測定および計算ができる。			
	4thQ	9週	アース探索	漏電箇所を発見できる。			
		10週	機関応急運転 (1)	ブラックアウト時における処置ができる。			
		11週	機関応急運転 (2)	ブラックアウト時における処置ができる。			
		12週	ERM訓練 (1)	トラブルなどを想定して機関シミュレーターを用いながら、コミュニケーションがとれる。			
		13週	ERM訓練 (2)	トラブルなどを想定して機関シミュレーターを用いながら、英語を使ってコミュニケーションがとれる。			
		14週	出力装置	小型艇機関の整備ができる			
		15週	ビルジ排出および油水分離器	ビルジの排出方法および油水分離器の原理について理解できる。			
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	70	10	20	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	70	10	20	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0